表2　テクニカルコミュニケーターに求められる知識と能力(2011年3月版)

TC協会TC専門教育WG

(1)分野	(2)説明	(3)知識と能力
TC基礎	TC(テクニカルコミュニケーション)の全体論	☐ TCの定義、歴史、適用分野 ☐ ドキュメントの種類と特徴、基本構成、制作工程 ☐ テクニカルコミュニケーターとしての職業倫理
制作実習	テクニカルコミュニケーションの応用分野である取扱説明書やその他の説明文書の企画から完成までの実習体験	☐「TC基礎」の中での実施、インターンシップ(TC技術を必要とする制作現場での実務体験)など
情報収集と分析	説明の対象とする物事とユーザーの情報を集め、誰に何をどのように伝えるかを明確にする能力	☐ 情報源の選定:文献、データベース、その他情報源の知識 ☐ 情報収集:インタビュー技術、質問票の作成と調査、ユーザビリティテスト、エスノグラフィー(行動観察) ☐ 分析:タスク分析、ユースケース分析
企画・設計	ユーザーに必要な情報を分析し、実現手段を検討して、企画書、設計書、または構成案にまとめる能力	☐ 提供媒体の選定 ☐ マニュアル体系、サイト構成、分冊構成の検討 ☐ ペルソナ・シナリオ作成、ストーリー作成 ☐ ユーザーエクスペリエンス ☐ 思考法、課題発見・解決法(ロジカルシンキング、KJ法など) ☐ インストラクショナルデザイン
情報アーキテクチャ	わかりやすさと探しやすさを追求し、媒体やデバイスの特性に応じて表現方法を使い分け、伝達効率を向上し、制作や配布のコストの最適化を実現する技術や知識	☐ 情報工学、プログラミング、データ解析、データベース技術 ☐ ネットワーク技術 ☐ 情報の論理構造の理解、文書の構造化、構造化技法・ツール
制作管理・ディレクション	マニュアル制作プロジェクトの目標を設定し、品質、制作スケジュール、コストの全てで最適な成果が得られるように制作チームを統率し、各工程でプロジェクトを円滑に進めていく能力	☐ 品質目標、納期、予算設定 ☐ チームビルディング、制作工程管理、プロジェクト推進 ☐ 品質管理(ユーザー品質、製造品質) ☐ 品質評価とフィードバック
デザイン・表現設計	さまざまな情報を印刷媒体、画面表示を使って、伝達の相手が魅力を感じるように表現する知識や能力(音声や動画を利用した情報伝達も含む)	☐ ビジュアル表現、レイアウト、色彩表現(配色) ☐ グラフィック・デザイン(紙面構成・画面構成) ☐ エディトリアル・デザイン(フォント、文字組、組版) ☐ Webデザイン ☐ マルチメディア表現(音声・画像・映像) ☐ ユニバーサルデザイン
	ツール活用	☐ レイアウトツール ☐ スタイルガイドの作成
ライティング	一般的な実用文(レポート、連絡文書、事務的な伝達文書など)を、日本語で適切に書く能力	☐ 日本語作文技法(文法、用字用語を含む) ☐ レポート、小論文などの作文演習(一般教養レベル) ☐ テクニカルライティング、パラグラフライティング、ロジカルライティング、コンテクストライティング、トピック指向ライティング ☐ アウトライン(アウトライン作成と文章化)、サマリー、要約、抄録の作成 ☐ 説明文の種類と特性(使用説明、業務マニュアル、技術文書、学術論文、ビジネス文書、販売情報) ☐ 文章スタイル、執筆ルール作成、推敲、査読、校正、校閲、用語の統一と管理
	ツール活用	☐ エディティングツール
英文ライティング	英語の読解力と作文能力(海外市場向けの専門家を目指す場合に重要)	☐ 英文リーディング、英文ライティング
周辺分野 ユーザーインターフェイス	人工物と人間の間で、情報のやりとりや作業を行うための適切な手段を提供するための知識や能力	☐ 認知科学 ☐ 人間の認知特性とUI設計 ☐ ユーザビリティ
コンプライアンス	テクニカルコミュニケーションで扱われる情報に関する、権利や義務、法制度などの知識	☐ 消費者保護、製品の安全性、環境保護の関連法規 ☐ 知的財産権 ☐ 情報セキュリティ
異文化理解	文化の異なる人々との間で適切にコミュニケーションするための知識や能力	☐ 言語特徴、外国語との差異、シンボルの文化差